

## 中学校給食の魅力化に向けた給食内容の充実(案)と必要経費

〔1食あたりの必要経費〕

### (1)主食の充実・価格上昇への対応

○主食のバリエーションの充実 〔パンやナンの新規提供(1回程度/学期 ~ 1回程度/月)〕	2~6円
○価格上昇への対応 〔+約3円増(平成26年度→令和元年度)〕	3円

### (2)牛乳の価格上昇への対応

○価格上昇への対応 〔+約5円(平成26年度→令和元年度)〕	5円
-----------------------------------	----

### (3)温かいメニューの提供

○レトルトメニューの提供回数の増 〔2回程度/月 ⇒ 3~4回程度/月 ~ 8回程度/月〕	8~24円
○汁物の提供回数の増 〔月1回程度/11~2月 ⇒ 月2回程度/10~3月 ~ 4回程度/毎月〕	1~4円

### (4)副食のさらなる充実

○特色あるメニューの充実・提供回数の増 (行事献立や郷土料理、外国料理、神戸メニュー等) 〔3回程度/月 ⇒ 4.5回程度/月 ~ 8回程度/月〕	5~15円
○生徒に人気のある肉系料理の充実 〔肉の使用頻度の均一化・ボリュームアップ(牛肉+70gなど ~ 牛肉+100gなど)〕	10~15円

### (5)デザート類の充実

○楽しく食育を学ぶための工夫(行事・季節のデザートの提供回数の増) 〔デザート:2回程度/月 ⇒ 4回程度/月 ~ 8回程度/月〕	5~15円
○主食を食べやすくするための工夫(ふりかけの提供回数の増) 〔ふりかけ:1回程度/月 ⇒ 2回程度/月 ~ 4回程度/月〕	1~3円
○牛乳を飲みやすくするための工夫(ミルメークの提供回数の増) 〔ミルメーク:1回程度/学期 ⇒ 2回程度/学期 ~ 4回程度/学期〕	

### (6)物価上昇への対応

○消費者物価指数における物価上昇率を踏まえた対応 〔平成27年を100として、平成30年で食料が103.8、生鮮食品が106.4に上昇〕	10円
---	-----